

「アメリカ国民の健康と幸せを効果的な健康と福祉を提供し、強く、継続的な医薬、公衆衛生、福祉サービスの前進をはぐくむことにより向上させること」

この使命を実行させるために厚生省戦略計画は現在の当省の業績管理フレームとなる6つの目標を提示する(identify)

3ヘルスサービスを利用しやすく、国の健康権利とセイフティネットサービスの透明性を確かなものとする

4ヘルスケアと対人サービスの質を改善する

目標5と6は医療、公衆衛生の基礎となる科学とシステムの強く継続的な進歩を育むものである

5公衆衛生システムを改善する

6国の健康科学研究事業を強化し、その生産性を増進する

- ・すべての国民の健康と生産性に対する主な脅威を軽減する
- ・合衆国の地域社会(communities)、家庭そして個人の経済的、そして社会的福祉を向上させる
- ・ヘルスサービスへのアクセスを向上させ、国家医療権利(nation's health entitlement)とセイフティネットプログラムの透明性を保証する。
- ・保健医療と福祉の質を向上させる
- ・公衆衛生システムを向上させる
- ・国家の保健科学研究事業を強化し、その生産性を高める

プログラムと横断的(crosscutting)目標

年次業績計画と厚生省戦略計画の間のつながりは、厚生省の部門により管理されているプログラムの横断的目標の認識と達成に必要である。最も広義のレベルの達成では戦略計画の目標と目標は共通であり数々のプログラム活動と細かい業績目標によって実質サポートされている。戦略目標は厚生省年次業績計画に含まれている厚生省プログラムのと業績目標測定の概要を供給する。業績目標と測定を支援するための戦略計画は、各プログラムで同じではないが、計画全体の方向性に対して一定であり、それを補完するものである。各プログラムごとの違いは各プログラムを特有のものとする数々の特性を反映するものである、それらは干渉モデル、サービス提供者そしてサービス人口などである。

全体を通じて、厚生省計画は他の連邦機関とプログラム提携の例(instance)などを提示する。特に、戦略計画は他の機関と「外部関係の向上」に関する議論のための日々のスタッフコンタクトを示す。それは「文部省の協力で学校におけるの葉害予防活動に関する教育を行い、運輸省との協働で福祉受理者が職場への利用可能するための移動手段を得るための支援をし、労働省と司法省との提携により健康保険のポータビリティとアカウントピリティに関する法律を実行すること」などを示す。

さらに広範囲における連邦機関間での業績目標の調整と継続性のために、厚生省はGPRAの最初の連邦機関年次業績計画を、補完的または複製可能なプログラム活動・戦略の明示化(identification)を可能にする重要な資源としている。この実行初年度中における計画の共有は重複を認識するために不足していた情報を提供するが、さらに重要なのはさらなる機関間での調整の機会を得ることである。これはGPRAの実行プロセスによりすでに始まっている。厚生省は機能的とプログラムのラインにおいて継続性と連続性を求める多数の機関間業績計測調整グループに参加している。例えば、数々の連邦規制機関(federal regulatory agencies)は業績計測におけるの安定した方法を認識するために費やした昨年の努力を体系化(organized)した。それと同様に、連邦調査機関は政府のために数年に渡って最も難しい業績計測を行おうとしている。これらのグループの努力は最終的に1999会計年度のために作られた細かい計画を共有できる段階になってより高められる。

#### 業績計画と予算

OMB 回報 A-11、パート 2 が「プログラム活動構造が業績目標と指標を定義し提示するための基盤である」と規定したように、厚生省は 300 もの活動を管理する部門が年次業績計画を発展と提示するために必要な構造を作るための予算を厚生省予算から供給することを決定した。GPRA と OMB 回報 A-11、パート 2 は年次業績計画が機関の予算請求にあたって絶対必要(integral)な部分になるようなプロセスを要求している。厚生省は当初よりその年次業績計画を直接厚生省の予算に組みこむことを選択していた。業績情報を予算に提示する決定は厚生省の業績計測情報での意思決定を高める意識を反映し、当省の予算の役割を持つ連邦議会委員会のニーズを反映することである。

厚生省予算に年次業績計画を組みこむ事に対しては他にも重要な便益がある。予算はルーチンにプログラム活動を説明し、必要とされる資源の必要性を特定する；この情報は GPRA に年次業績計画を算定する時にも必要とされる。業績計画と予算を統合させることはプログラム管理者への負担を減らすことだけでなく、予算と業績計画のために使用される情報の連続性を確立させることにもなる。最後に、厚生省予算がルーチンに全予算の中の業績計画をふくむ厚生省プログラム活動全般をカバーするので、業績情報が

すべての活動をカバーするフレームワークを確立することができる。

その結果、厚生省予算要求が複数の冊子によって提示される必要な資源と個々の作業と厚生省のスタッフ構成の正当化などを表明するのと同様に、厚生省の年次業績計画が同じ方法で提示される。プログラムレベルでの業績をすべて説明する細かく実質的な情報は予算プレゼンテーションと各機関の年次業績計画に含まれる。厚生省のプログラムレベルでの業績情報を深く理解するには厚生省の国会予算説明に含まれる年次業績計画を理解する必要がある。

#### 年次業績測定への厚生省の取組み

会計検査院がその1997年の3月の報告で観察したように、「GPRA:1997 政府の広範囲適応は不平等になる」、GPRAの下での厚生省の業績測定は発展的で反復的な工程となる。厚生省は部門間での実質的で重要な業績情報を認識したが、各プログラムの活動間では業績情報のギャップが生じる、特に完全対応初年度である今年。例えば、HCFA (health care financing administration)がメディケイドプログラムにおいて象徴的な結果と衝撃的な業績目標と測定を会計年度1999年にもたらず事は可能ではない。なぜならメディケイドは連邦プログラムだけではなく、州とのパートナーシップの下で資金提供され、州によって管理されている。州がこの業績目標と測定の発展のために重要 (significant) な権力 (authority) を持って活動的に参加することが必要不可欠だからである。その結果 HCFA は管理と予算事務所に要求し、メディケイドにおける会計年度1999年度の厚生省年次業績計画におけるメディケイドプログラムの業績目標と測定の定義からの削除を承認させた。

#### データへの取組み

当省により管理されているプログラムの範囲と多様性は GPRA の厚生省の中での実行において最も重要な点である。適時で、信頼でき、そして適切な業績パートナーからの情報などの多数のケースのデータの欠落は厚生省プログラムの業績目標、目的、指標を発達させるために決定的な要因である。当省の戦略計画で論じられているように、この問題は数々のプログラム活動など当省すべてに適応し、これらの細部は具体的計画内 (component plans) にて説明されている。

しかし、これは分権型かつ分散型の省全体のプログラム実行方法の性質、そして非連邦パートナー権力とのプログラム実行と管理方法における強力な関わりと、非常に重要な関係をもっている。既存のデータシステムはほとんどの場合資源の使用を監視し、活動の結果そのものをとりこまない統計上のデータを提供するものだった。さらに、多くの連邦調査は毎年行われておらず、州ごとのデータや、特殊な人口グループを追跡す

るデータを提供しない。その結果、数々の厚生省プログラムは GPRA の要求を、時には不十分で他目的のために集められたデータに頼ることになる。

GPRA の根本的な要求であるデータの妥当性は、多くの厚生省の構成要素において重要となる。なぜなら状況と業績情報の根源は当省の中において大きな違いがあり、データの信憑性を確認することは現実的ではないからである。それは各厚生省構成要素の業績計画によって提示されている。それにもかかわらず、省内での一般的な確認方法は資源に集中し、業績パターンとの広域においての協調を求めるのである。数々のプログラム活動には、現在存在しないベースライン、そして目標データに対する結果目標と目的が存在する。これはデータの妥当性確認の問題と関連しているが、他の記載を保証するベースラインの確立は、GPRA の本質的要件だからである。この問題だけでも GPRA の実行が反復的プロセスであるという見解の必要性を説明できる。

測定の種類：成果、産出(output)そしてプロセス

プログラム業績とプログラム結果両方の査定を供給するために、厚生省は年次業績計画内での結果と産出、そしてプロセス計測のバランスを内包した。当省が個人の健康と幸せの向上をそれらのプログラムによって求めるために、厚生省は可能なかぎり、プログラム結果を測定するデータと結果を査定してゆく。しかし、OMB 回報 A-11、パート 2 が予期するように、産出の測定の方が年次業績計画において優勢になってしまう可能性があり、それらは厚生省計画にもある。

産出とプロセス目標と測定は、特に GPRA 実行の初期段階では、厚生省プログラムの重要な評価項目である。産出とプロセス測定はそれ自身で既に意味がある。なぜならそれらはプログラム「結果」の評価を意味しており、産出測定よりもプログラム「業績」を端的に示している。産出とプロセス測定は人々に影響を与えるプログラムの年次評価においては、特に実用的で現実的である。人口特性の統計を取るにあたってのコストによって示されたように、プログラムの家庭と個人に対する影響を評価するのはとても資金がかかる、厚生省が毎年、数々のプログラムに対するそれらの活動を資金することは難しい。さらに、数多くの医療、福祉プログラムには個々のプログラムによって意味のある変化が起こる、もしくは年間ベースですら発見可能、測定可能と考えるのは難しい。州のようなプログラムパートナーがプログラム業績を年間ベースで評価するデータと提供しなければいけないような場合に、もし我々が既存の管理データベースを利用させることを許容し、そして産出データを作るならば、はるかに負担を軽くすることができる。最後に、いくつかのプログラム活動において最も重要な結果は常に成果だけではない。連邦プログラム、規則、そして活動のプロセスに付随するものが人々と産業に最大の影響をあたえる、そしてそれらのプログラムの産出とプロセスのタイミングと質を向

上させることが最も確かつ効果的な目標と業績測定となるのである。

それにも関わらず、厚生省は成果目標と、測定をプログラム活動に使用していく。いくつかの厚生省構成部局はプロセスと産出測定の使用を既に行っている。業績結果を測定するための正しいデータが不足しているか、彼らのパートナーと結果の目標と測定について最終的に合意に達するための努力をしなければいけない。その結果我々は将来の厚生省年次業績計画の反復は初期の計画よりもっと結果目標と測定を含むであろう。構成部局の業績情報の検証がこれらの状況が起きるかを示すであろう。

#### パートナーと関係者の参加

数々の厚生省プログラムの適用とサービス提供の経営においてパートナーシップが中心的、かつ根本的な管理アプローチであり、業績目標と測定の発展において当省が実質的権限を有する参画を行うことは重要である。州や地域機関、非営利団体、大学、保険会社、開業医、そして他の数々の共同社会が、厚生省や他の機関により資金を供給されてサービスの適合あるいは補完、調整を行っている。業績測定パイロットと業績パートナーシップとの経験はパートナーと利害関係者の業績目標と測定を発展させるにあたっての重要性を示し、厚生省プログラムの結果を評価するにあたってのデータを得ている。目標と測定方法を発達させる方法論は、厚生省の特有の取組みであり、それは我々の最初の計画の目標と測定方法を発展させる能力に影響してきた。OMBによるメディケイドの免責(waiver)はこれを表している。この取組みは他のプログラム活動の目標と測定方法をより軽減し、しかし、重要な影響を与えた。我々のこの取組みを示す努力は、パートナーが広範囲にわたってプログラム管理と資金調達に参加するプログラム活動へのGPRA実行の初年度の業績目標と測定方法の重要な変化をもたらすであろう。

#### プログラム活動の範囲と統合 (aggregation)

厚生省年次業績計画は直接と統合的(aggregated)プログラム活動両方に業績情報を提供するが、主要な厚生省プログラム活動の適用はすでに完了している。HCFA、NIH、そしてACFはGPRAに許されているように統合的プログラムを有しており、厚生省計画でなぜ総合的になる必要があるか合理的な説明を提供している。HRSA、CDC、そしてFDAなど他の団体はすべての予算活動における業績情報を提供するように指示された。報告と提示の目的にとっては、どちらかのアプローチに重大な利益や決定要因が現れる事はないように思われる。双方厚生省と政府に対して全体としては重要な業績情報を与える。

厚生省のプログラム活動の業績目標と指標は会計年度1999年厚生省年次業績計画のもっとも重要な一面である。すべての厚生省プログラムは年次業績計画の中で量的、もしくは質的業績目標と指標により同じように表されている、そしてそれらの目標の多くはプログラムの成果と関連している。厚生省構成部局の個別資金と業績計画提出のなか

で細かく発表され説明されている厚生省の年次業績目標と指標は厚生省とそのプログラム業績パートナーが厚生省プログラムによって FY1999 年中に達成するものの描写を提供している。さらに、目標と測定はいかに厚生省によって、通じて資源が管理されているかについて深く説明し、そして、それらの資源(resource)によってどの結果が達成できるかを説明している。

検証者(reviewer)は、業績情報のために、厚生省構成部局の予算要求をみなければならないが、この文書は機関の使命とプログラム、いかに厚生省構成部局の業績目標と目的が戦略計画を支えているのか、いかにこれらの構成部局が GPRA の年次業績計画の実行に従っているか、全体的な説明を提供する。GPRA の下で業績を測定するため、厚生省の様々な取組みを反映し各機関のデータ取組みを必要とする。業績評価に対するアプローチ関連の情報をまとめ、厚生省構成部局が会計年度 1999 年に向けて明らかにした業績目標と測定の中での重要な部分を明らかにする。

#### 4-①: Administration for Children and Families (ACF) 小児・家庭総局

##### 概要

小児・家庭総局 (ACF: Administration for Children and Families) は経済的・社会的幸福 (well-being) を小児、若者、家庭に提供するプログラムを、低所得者や難民、ネイティブアメリカン、発達障害等の弱者層に焦点をあてて施行する。これらのプログラムはいくつもの立法権力 (legislative authorities) と資金調達多様性と統治協定 (diversity of funding and governance arrangements) による。ACF はリーダーシップを取り、協働、技術的支援、評価を提供すると共に連邦基金、州、地方、地域単位の組織、あるいは非営利の補助金のプログラム (non-profit grantees deliver program services) を提供する。

ACF とパートナーは共に厚生省の下記の目的達成のために重要な支援を提供するプログラム成功の責任を負うものとする。

アメリカ国民の個人と家庭、地域の経済的・社会的幸福を改善する

##### 測定方法のアプローチ

ACF は 35 の予算活動に分けられた 22 のプログラムを施行する。個々のプログラムが協働し ACF の横断的プログラムの目的達成に努力を向けられるようにするために、ACF はこれらの予算活動を 13 の主要プログラムエリアに統合し 4 つの長期目的を支援する。これらの目的のもと、ACF は 8 つの横断的目標を設定し、成果主義の測定法 (outcome-based measures) を促進する。これらの目的・目標は ACF の業績計画を構成する。

ACF のプログラムは複雑なパートナー環境で管理されており、様々な連邦や州、地方、非営利、地域単位の資金源とプログラムが、プログラムの発展、実行をすると共に、サービスの提供、目的達成の努力を行っている。資金メカニズムと自治の度合いの関係はプログラムによって異なる。パートナーが相互に共通の目標を満たす効果的な政策やプログラムを作ることに協力することが当初の努力目標である。これらの多様な司法権と組織の広義の目的は ACF のものと同様であるが、州や地方プログラムはしばしば特定の必要性を持つ人々のために特定のターゲットや結果によって異なる。この分権化された環境において、ACF が目的・目標を達成できるか否かは州や地方、部族政府や他の関係機関と効率的提携にかかっている。

これを踏まえて、ACF はパートナーや関係機関と緊密な協議をもち、相互に賛同を得られる目的や目標を、現場に最大限の柔軟性をもたせながら達成できるよう彼らの支援を得る。ここでの議論は直接的なパートナーだけでなく擁護団体 (advocacy group) や全国の教育・技術支援組織も含まれている。結果に関する合意にたどり着く

ためのこのような努力は、戦略目標、立法要求 (legislative requirements)、そしてデータの出所と利用可能性についての白熱した議論を刺激し、理想的なプログラムの結果やプロセスの関係、結果の測定方法についてのより良い理解を導いてきた。

期待される結果と影響は、その問題 (issue) の性質や適切な測定方法の明確化 (identification)、データ収集能力に依存し、目的・目標によって異なる。量的に測定される結果があり、データが有効あるいは容易に手に入るような分野、例えば小児支援収集 (collection) では、ACF は迅速な結果報告が得られるであろう。他の分野、つまり期待される結果が質的なものや州、地方の機関にデータの提出に関する合意に依存する分野では、適切な結果や測定方法に関する合意を持つことやデータ収集に適したシステムを設計し、発展、実行に移すのに甚大な努力が必要と思われる。これは福祉改革、例えば開始時点の質を測定する試みなど、のもとで ACF の高い成果を築こうとする努力、そして新規に法制化された小児予防事業、養育ケア、そして養子縁組に期待されている。



#### 4-②Administration on Aging (AoA)

##### 高齢対策局

###### 概要

高齢対策局 (AoA: Administration on Aging) は高齢者とその家族に高齢アメリカ民法 (Older Americans' Act) と高齢化関連の応用研究・教育プロジェクトを通じて奉仕する。連邦政府の高齢者擁護の焦点にあるように、AoA は国の高齢者の尊厳と独立を推し進める。高齢アメリカ民法の下、AoA は高齢ネットワークをつくる州や地方高齢機関 (area agencies on aging) を支援する資金を提供し、高齢者への支援事業も行う。高齢者のためのサービスのてこ入れ (leverage) もまた AoA や高齢ネットワークの重要な役割である。というのも、高齢ネットワークを通じて行われる重要なサービスは他の財源、例えば他の連邦プログラム、州プログラム、地方基金、そして集合食堂 (congregate meal site) の人々からの寄付金からさえも出されているからである。州規模のサービスインフラを通じて AoA 基金のプログラムは包括的在宅 (in-home) ・地域サービスを提供する。また、高齢アメリカ国民に利用可能な法的サービス、カウンセリング、オンブズマンプログラムを作成する。

AoA と高齢ネットワークが高齢アメリカ人のために作ろうとしている結果は厚生省の下記の目的達成のために本質的な貢献を果たすであろう。

アメリカ国民の個人と家庭、地域の経済的・社会的幸福を改善する

###### 測定方法のアプローチ

AoA はプログラム活動とその年次業績計画の中に組みこみ、州、インディアン部族、地域高齢機関や供給者が協調して、高齢者のためのプログラムを実行する分野でのサービス提供に生かす。計画のなかの成果目的と測定方法は当初高齢ネットワークの提供するサービスの水準としていた。高齢アメリカ人により良い結果をもたらすであろうサービスはサービス水準が本プログラムの強力な尺度となるくらい基礎となるものである。高齢ネットワークは食料の質が高齢アメリカ人の健康に与える影響を測定する必要はない (彼ら個人個人の健康を食料が改善する、という事を提示して)。ネットワークは在宅サービス (home-based services) あるいは搬送 (transportation) が高齢者の自立性に与える影響を測定する必要はない。このようなサービスは高齢者の自立性を維持させる。結果として、高齢ネットワークは許容量 (capacity) を増大させ、包括的で調和のとれたサービスシステムの効果的利用を通じて高齢者へのより良い成果 (outcome) を達成できる。適切なプログラムの結果測定方法は教育プログラムや人的支援、輸送、そしてケースマネジメントの水準に集中する。この基本的な焦点を反映し、AoA は高齢

者ネットワークを通じて提供されるサービスの水準を反映する結果測定法を明らかにしていく。

AoA によって明らかにされた結果測定法は、高齢アメリカ人にとって良い結果に貢献する。例えば、会計年度 1999 の、1 億 1 千 9 百万の宅配食を栄養プログラムの下に 98 万 8 千人にという規定 (provision) は直接的に高齢アメリカ人の日々の健康と自立に役立っている。長期療養国家協定 (national resolution) とオンブズマンに促進された不満の 70% 以上の部分的決議は安全で質の高い長期療養を保障するであろう。

AoA は適時で適切な補償金の手続きの改善によって高齢アメリカ人の健康と自立に貢献していることのアカウンタビリティを測定し、同時にそのプログラムを支援する共同のデータ構成 (corporate data structure) の改善を明らかにする。

#### 4-③Agency for Health Care Policy and Research (AHCPR)

##### 保健医療政策・研究局

###### 概要

厚生省の保健医療の質に関する主な機関として、保健医療政策・研究局(AHCPR: Agency for Health Care Policy and Research)は保健医療サービスの質、アクセス可能性、費用と効用(utilization)を改善するための研究を支援・指揮する。根拠に基づいた研究を通してAHCPRは診療医が提供するサービスを改善し、消費者により良い医療選択をするようはたらきかける。AHCPRはまたデータ収集と分析によって国の健康を追跡調査し、公私の意思決定が保健医療産業において管理ができるよう支援をする。

AHCPRは公私の両セクターの組織、専門家、内部及び独立の研究者と協働し新しい知識、製品、道具など必要性を明らかにしていく。そしてAHCPRは研究を指揮し、その研究から得られた結果の普及に努め、影響を評価する。AHCPRの研究はまた省内の他の部署が使命を実行するための意思決定をする上で使われる知識の重要な情報源ともなる。HCFA(Health Care Financing Administration)は、例えば、AHCPRの研究をメディケア受給者の費用とサービスの質を監督する、という役割を果たす時に用いることができる。

AHCPRが当省の保健医療の質に関する重要な部署であり、保健医療システムのなかでなにがどれくらいの費用を要するのか、新しい知識を提供していることから、AHCPRは厚生省の戦略目標に重要な貢献をしており、中でも下記の厚生省戦略目標を支援する。

保健医療と人的サービス(human services)の質を改善する；  
国の保健科学研究事業を強化し、生産性を高める

###### 測定方法へのアプローチ

AHCPRは成果目的を定義し、保健の費用、質、結果に関する研究の結果を評価する。当機関が研究プログラムの結果を正しく測定、記述することは困難である。しかしながら、この計画は研究結果を予測し会計年度1999年内に完了させることを明示しており、その内容は何が有効でどのような費用があるかに関する基本的な知識に加えられるものである。この計画は当機関がこれらの知識をいかに現場で使える情報、製品、道具の発展と規定を通じて実践に移していくかを評価することを提案している。AHCPRは実践に移されてきた研究と情報の結果を明らかにするために重要な段階を提案する。最後に、AHCPR計画は保健医療の質を改善するためのリーダーシップを提供するように努める事の評価も含むものとする。

AHCPR は特に MEPS プログラム活動を行う業績目標を含む。MEPS の目的は全国を代表するアメリカ人のサンプルから保健医療サービスの利用と支払いに関するデータ収集であるから、プロセスと適切なインジケータはデータがその時に有効であることを保障するのに適切である。

#### 4-④Centers for Disease Control and Prevention (CDC)

##### 疾病対策・予防センター

###### 概要

疾病対策・予防センター (CDC: Centers for Disease Control and Prevention) は健康と質の高い生活 (quality of life) を促進するため疾病や傷病、障害の予防と対策 (control) を行う。この使命を達成するために、CDC は全国、全世界のパートナーと提携し、健康の監視や、健康問題の調査・発見、予防強化のための研究指揮、十分な保健政策の発展と擁護 (advocate)、予防戦略の実行、健康的な行動の促進、安全で健康的な環境の育成、そして公的なリーダーシップと訓練の提供を行う。

CDC は他の連邦・州・地域機関 (agency) や部族政府、民間組織と提携してリーダーシップを行使する。これら全てのパートナーは厚生省の戦略目標、特に下記の目標の成功に貢献する。

- ・全てのアメリカ国民の健康と生産性 (productivity) への主要な脅威を削減する
- ・公衆衛生システムを改善；
- ・国の保健科学研究事業を強化しその生産性を高める

###### 測定方法へのアプローチ

測定方法戦略のなかで、CDC は各プログラム活動に対し目的 (purpose) と目標 (objectives)、測定方法、パートナーシップ機会、データ収集法を明らかにする。当機関のプログラム活動は互いに補完的であるため、計画は、伝染病、予防接種、保健統計、慢性病予防、予防研究、予防的保健・保健補助金、傷病の予防・対策の機能的分野に分けられ組み立てられている。例えば、伝染病部門 (function) は次のような複数の疾病予防プログラムを含む：発生伝染 (Emerging Infections)、結核、HIV/AIDS、性的感染症 (Sexually Transmitted Diseases)。

有効なデータを用いて CDC は多くのプログラムの成果測定方法 (outcome performance measures) を明らかにできる。そのなかの多くは Healthy People 2000 の目的・目標に基づいている。それゆえに CDC は結核や HIV/AIDS、性的感染症、ワクチン予防が可能な疾病のような病気を削減するための結果測定法を明らかにする。

特定の削減目標や測定法を明らかにできない場合、CDC は産出 (output) と過程の測定法の論理的根拠を明らかにする。多くのこれらの結果・過程測定法は CDC が州や地域保健部門の発見・予防プログラムの改善を助ける働きを重視している。

#### 4-⑤FOOD AND DRUG ADMINISTRATION (FDA)

##### 食品・薬品局

###### 概要

連邦政府の第一消費者保護機関と同様、FDA は安全でない、あるいは効果的でない製品による傷病や病気の予防を通じて公衆衛生を保全する。FDA は FDA 規定の製品に関連する健康問題を明らかにし、その問題の由来と影響を評価する。FDA は公衆を危険にさらすような問題の防止に尽力すると共に、消費者を保護する法律・規制を市場が遵守しているか監視する。

食品・薬品局のプログラムはアメリカ国民の健康と安全を保護・促進するために食料規制をはじめ化粧品、人間・動物用の薬品、動物の餌、タバコ、医療目的の生物学的製品と機器等を用いる。FDA の役割は下記の厚生省戦略目的の達成に顕著である。

- ・アメリカ国民の健康と生産性に対する主要な脅威を削減
- ・保健医療と人的サービス (human service) の質を改善する
- ・公衆衛生システムの改善
- ・国の健康科学研究事業を強化し生産性を高める

###### 測定方法へのアプローチ

FDA のプログラムと活動それだけでは食品、薬品、医療製品の安全を保障することはできない。当機関が規制し担当する産業と消費者もまたこれらの結果を出すために重要な役割を持っている。しかしながら、FDA の活動と過程の効率性はこれらの結果を生むために非常に重要である。FDA の年次業績計画へのアプローチは、全ての食品・薬品の変遷 (continuum) との相互作用を明確にする業績目標 (performance goals)、測定方法を考慮してきた。FDA がプログラムの実行をするうえで取る行為 (過程)、規制行為 (regulatory) の産出 (output) のための測定方法が他の方法と同様にある。FDA は食料、新薬、生物学的製品と医療用具 (biological products and medical devices) のための検証期間 (review time) の効率性を明らかにする目標を有し、これらの製品のための製造設備 (manufacturing establishments) が FDA 基準に合致するよう努める。他の測定方法としては、栄養食品を作る上でのラベルの使用や、危険性のある食品取扱い・消費慣行の削減などがある。FDA はまたこれらの努力を支援するための過程と調査のための測定方法も含む。FDA は GPRA の精神に則り、広範囲に渡ってもっとも詳細な知識を持つプログラムマネージャーと関わりその目的・測定方法の発展に貢献する。

#### 4-⑥Health Care Financing Administration (HCFA)

##### 社会保険庁

##### 概要

メディケア・メディケイドプログラムを通じて「受給者 (beneficiaries) の保健医療セキュリティを保証する」ことは HCFA とそのパートナーの基本的使命である。基礎プログラムの当局の下で HCFA はメディケアの給付 (benefits) を民間財務機関 (private fiscal agents) を通じて支払う；メディケイドの給付 (benefits) のための基金を州に提供する；研究と普及、監視を指揮し、メディケア受給者に提供される医療サービスと設備 (facilities) の安全性、質の保証を行う；適格性や給付支払い (benefits payments) のための規則を制定する。

HCFA と州メディケイド機関、メディケア会計機関、メディケア・メディケイド受給者に奉仕する保健医療提供者 (providers) は厚生省戦略目的の 4 つの成功のために重要な役割を持つが、特に以下の目的に重要性がある。

- ・保健サービスへのアクセスを改善し、国民全体の保健、資格認証 (entitlement)、セイフティネットプログラムの統合を保証する。
- ・保健医療と人的サービス (human service) の質を向上させる

##### 測定方法へのアプローチ

HCFA の 2 つの原理が成果測定の特徴となっている。まず、HCFA はプログラム成果を代表するような成果目的を追求する。HCFA の業績計画は管理可能な (manageable) 成果目的と、OMB や GAO がプログラム成果の測定に推薦する戦略と一致する測定方法による。しかしながら、HCFA や各機関の厚生省戦略目的達成のために更に重要なことは、HCFA の成果測定方法の第 2 原理である：「測定の最も重要なことはメディケアとメディケイド受給者が必要とする質の高い医療を受けられることの保証に結びつく」

HCFA は会計年度 1999 年に 22 の成果目的を明らかにし、受給者サービスと支援を中心とした 3 段階の活動レベルに分割している。HCFA の測定方法は受給者にもっとも近く (most closely) 直接提携し、したがって成果主義 (outcome oriented) であるもので、各機関の成果測定方法へのアプローチのコアであると共に測定方法の焦点の第 1 段階を形成する。これらの核となる目的は受給者の影響に関する 3 つの側面 (ケアへのアクセス、満足、ケアの内容) に焦点を当てた成果測定方法に伴う。第 2 段階の目的とその測定方法はコアである受給者中心の測定方法を補完する。これらもまた受給者の影響に深く関連付けられ、コアである受給者中心の測定方法の代替 (proxies) と考えられる

こともある。例えば、受給者のインフルエンザワクチンの接種や乳房X線写真を受けたことの測定方法は共に HCFA の質向上努力の直接測定であるが、また受給者の医療アクセスを測る補完的な代理として考えられる。第3段階の測定方法は HCFA のアプローチを生産物 (output) 多様性を測るものや管理的機能と密接に結びついた測定方法を取り入れることで締めくくる。この段階の測定例は防犯戦略 (safeguard strategy) の改善と結びつく。

この3段階方式アプローチはメディケア・メディケイドの数種の測定方法の間でのバランスを取りつつ包括的カバーを提供する。HCFA は重要で意味のある成果測定方法で基本的プログラムのねらいに合致するものを明らかにすることに焦点を当ててきた。また、主要な結果主義測定方法で管理的予算活動と結びつくよう取り入れた。



#### 4-⑦Health Resources and Services Administration (HRSA)

##### 保健資源・事業局

###### 概要

保健資源・事業局は国の保健を改善するために包括的で質の高い保健医療への公平なアクセスを保証する。5千万以上のアメリカ国民が医療を受けられない深刻な障害に面している。四千二百万の人々が健康保険に加入していない。メディケアやメディケイド、または民間保険の資格を持つものもいるが、都市部に住む人も郊外に住む人も医者や看護婦、その他の初期医療提供者へのアクセスが限られている。それでも HIV/AIDS や他の健康条件を持つ人は基礎的な医療がより重要であるが、アクセスはより少ない。

HRSA は当省の戦略目的に貢献し、支援するプログラムを遂行し、特に下記の目的について関連が深い。

- ・アメリカ国民の健康と生産性への主要な脅威を削減する
- ・保健サービスへのアクセスを改善し、国の健康、資格、セイフティネットプログラムの統合を保証する
- ・公衆衛生システムを改善する

###### 測定方法へのアプローチ

HRSA は成果管理アプローチをビジネスを指揮する要領で組み立てることに努めてきた。以下の3つの目的を強調する。

- ・サービスが十分でない人々 (underserved) や、社会的弱者、特殊な必要性を持つ人々の包括的で適時、文化的に十分 (competent) で、適切な保健医療サービスへのアクセス
- ・サービスが十分でない人々 (underserved) や、社会的弱者、特殊な必要性を持つ人々の健康状態と健康結果 (health outcomes) の不一致 (disparities)
- ・サービスが十分でない人々 (underserved) への質の高い医療の提供、多様性を強調した質の高い労働力と最新技術 (emerging technology) の利用

成果測定方法の能力は現在各機関の6つの主要な内容と50のプログラムによって異なる。結果として、HRSAの年間計画 (performance plan) は混在の過程・生産物 (output)・結果 (outcome) 目的とプログラムの内的な活動 (例えば訓練アプローチ) に焦点をあてた指標、直接生産物・サービス (例えば保健サービスを受けている人の数、訓練され

た人の数)、そしてプログラムの結果 (results of program output) (例えば健康状態の変化、死亡率や罹病率) を含む。

IHS (インディアン保健サービス局) については省略

#### 4-⑧National Institute of Health (NIH)

##### 国立衛生研究所

##### 概要

NIHプログラムとその活動は厚生省の使命である医療や公衆衛生の科学の継続的発展を育成していくことの中心的役割を果たす。関連する使命である全てのアメリカ国民を寄り健康的にするような調査の指揮と支援を通じてNIHは省の3つの戦略目的を支援する。

- ・ 全てのアメリカ国民の健康と生産性への主要な脅威を削減
- ・ 公衆衛生システムを改善
- ・ 国の保健サービス研究事業を強化しその生産性を高める

##### 測定方法へのアプローチ

NIHは成果測定の目的のためにプログラム活動を統合し、3つの活動分野に分けた：研究プログラム、研究トレーニングとキャリア開発プログラム、そして設備プログラムである。研究プログラムには、質的測定方法が主要な役割を果たし、厚生省使命の当該側面に合致するようNIHが科学的進歩の達成を測定できる。例えば、物語風の調査成果の描写で科学的進歩の健康の改善や理解への貢献に関する視点を与えられる。この描写は継続的医療研究における科学の進歩の場の意味 (a sense of the place) を与える。可能な所では、科学の進歩による経済的影響が明らかにされ、量的指標も用いられる。研究トレーニングとキャリア開発、設備プログラムの評価は量的測定が良いと思われ、NIHはこれらのプログラムに量的方法を含んでいる。しかしながら、量的測定方法だけでは判断プログラムの成功につながる情報に基づいた基礎は提供できないので、量的・質的指標の双方が用いられる。NIHのアプローチは他の研究機関で、積極的な研究活動を数的目標 (numeric goals) と測定方法をきびすく追求している所のアプローチと一致する。習慣的な科学的研究法 (conventional scientific research metrics) では結果 (output) の側面のいくつかしか測定することができない。これらの測定法は関連データを提供するが、研究プログラムの質や関連性、影響の必要となる全体像 (larger picture) を得るには不十分である。会計監査室 (General Accounting Office) や科学技術政策局 (OSTP: Office of Science and Technology Policy)、他の多くの科学技術とイノベーションの過程を研究してきたところが示すように、基礎科学 (NIHの活動の有力なシェア) における投入物 (inputs) と産出物 (outputs) 関係は複雑で、目標実現には多くの年月を要する。そして前もって適切に予測するのは困難である。研究機関は量的そして質的測定方法の組み合わせを用いてGPRA下の成果を評価するべきである。

#### 4-⑨Substance Abuse and Mental Health Services Administration (SAMHSA) 薬害・精神衛生事業局

##### 概要

国家の保健システムの中で SAMHSA の使命は、併発の (co-occurring) 薬害、精神錯乱を含む薬害、精神疾患の予防、早期発見 (early intervention)、治療、リハビリサービスの質と利用可能性 (availability) を改善し、健康の改善と疾病、死亡、障害、社会的費用の削減を目指す。SAMHSA の優先を次のことにおく：

- ・治療と予防サービスのギャップを明らかにし、監察する。
- ・全国的、州、そして地域ベースでのこれらのギャップをなくす方向に進める
- ・児童とその家族の必要性を述べたサービスの発展と拡大 (proliferation) にねらいを絞った支援を提供する

SAMHSA は厚生省の戦略目的の中でも特に下記の目的の支援において重要な役割を持つ：

- ・アメリカ国民の健康と生産性への主要な脅威を削減する
- ・保健サービスへのアクセスを改善し国の保健、資格 (entitlement)、セイフティネットプログラムを保証する
- ・保健医療と人的サービス (human services) の質を改善する
- ・国の保健科学研究事業を強化しその生産性を向上する

##### 測定方法へのアプローチ

SAMHSA の年間計画 (performance plan) はそのプログラム範囲 (つまり薬害と精神衛生) と基本アプローチ (補助金、研究プログラム) を中心に組み立てられている。全てのケースにおいて現代の最先端を行く成果測定方法には制約が存在する。これらの分野における結果測定方法の発展の必要性は 1997 年国立科学アカデミーの報告『公衆衛生・薬害・精神衛生の成果測定方法の評価』にサポートされている。SAMHSA は州や他のパートナーとこのことを主張する (address)。適切な結果測定方法のデータを明示化し収集することの難しさや費用に加えて、保健システムはこの分野での継続投資もしくは同額を他の追加的なサービスのために使うかという事を選択しなければならない。

SAMHSA の 3 つの主要プロジェクトは現在、州の公共サービスシステムの成果測定方法の発展を支援している。かつて信頼性のあるデータによって発展し支援されたこれらの測定方法は SAMHSA のブロック補助金 (block grant) の結果測定法として役立つことが期待されている。精神衛生向けサービスの実行可能制評価プロジェクト (project fore